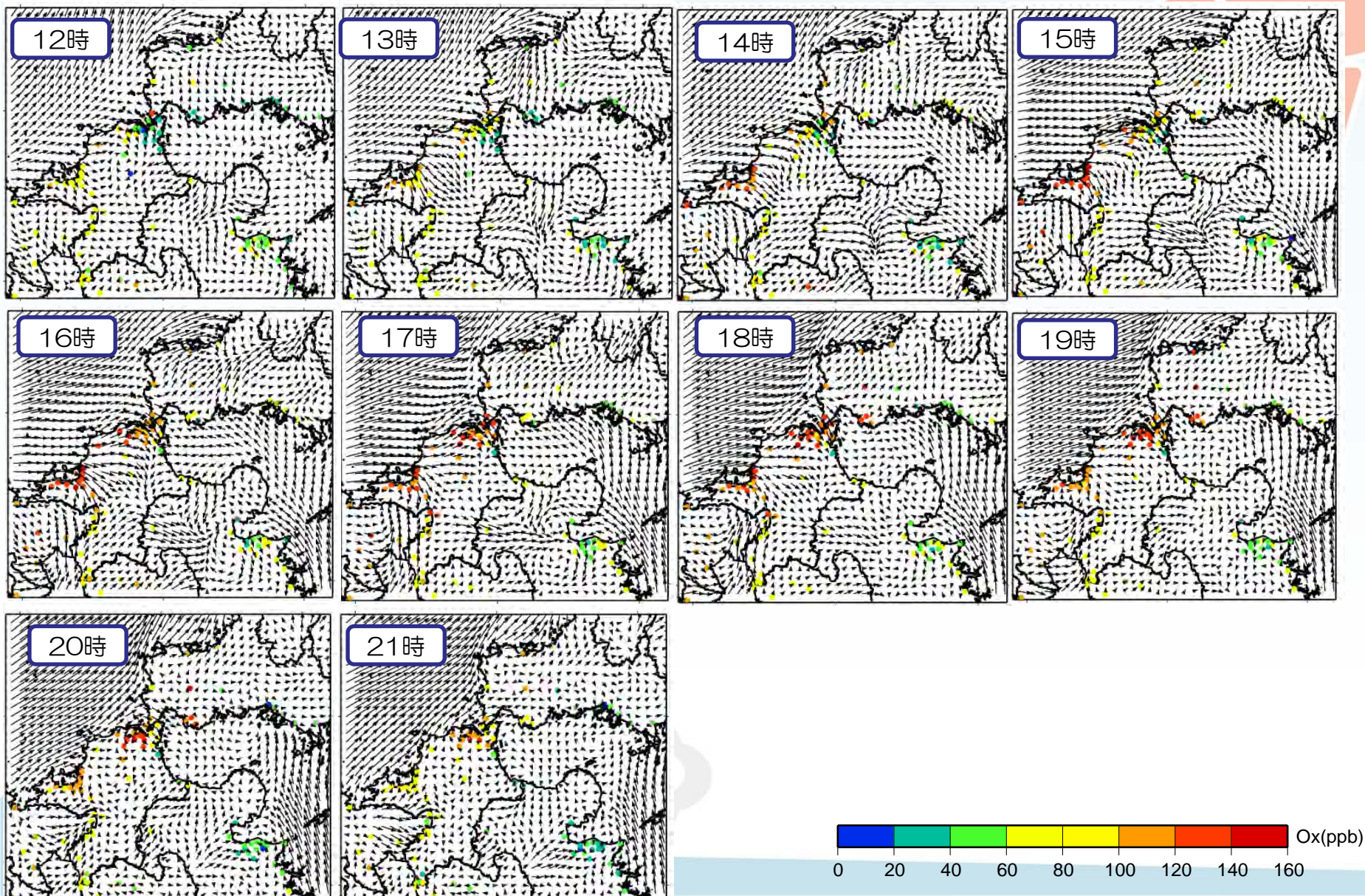
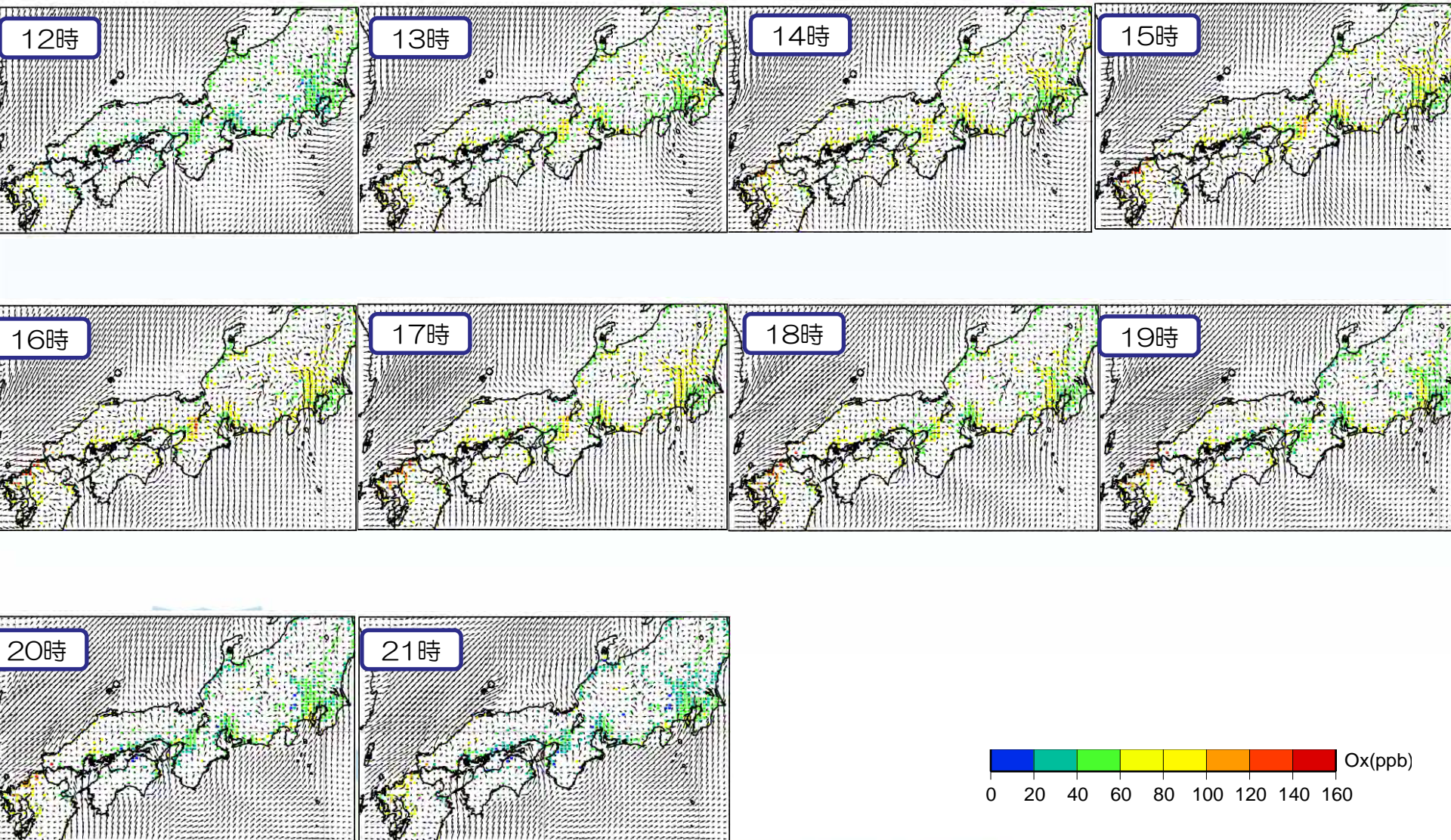


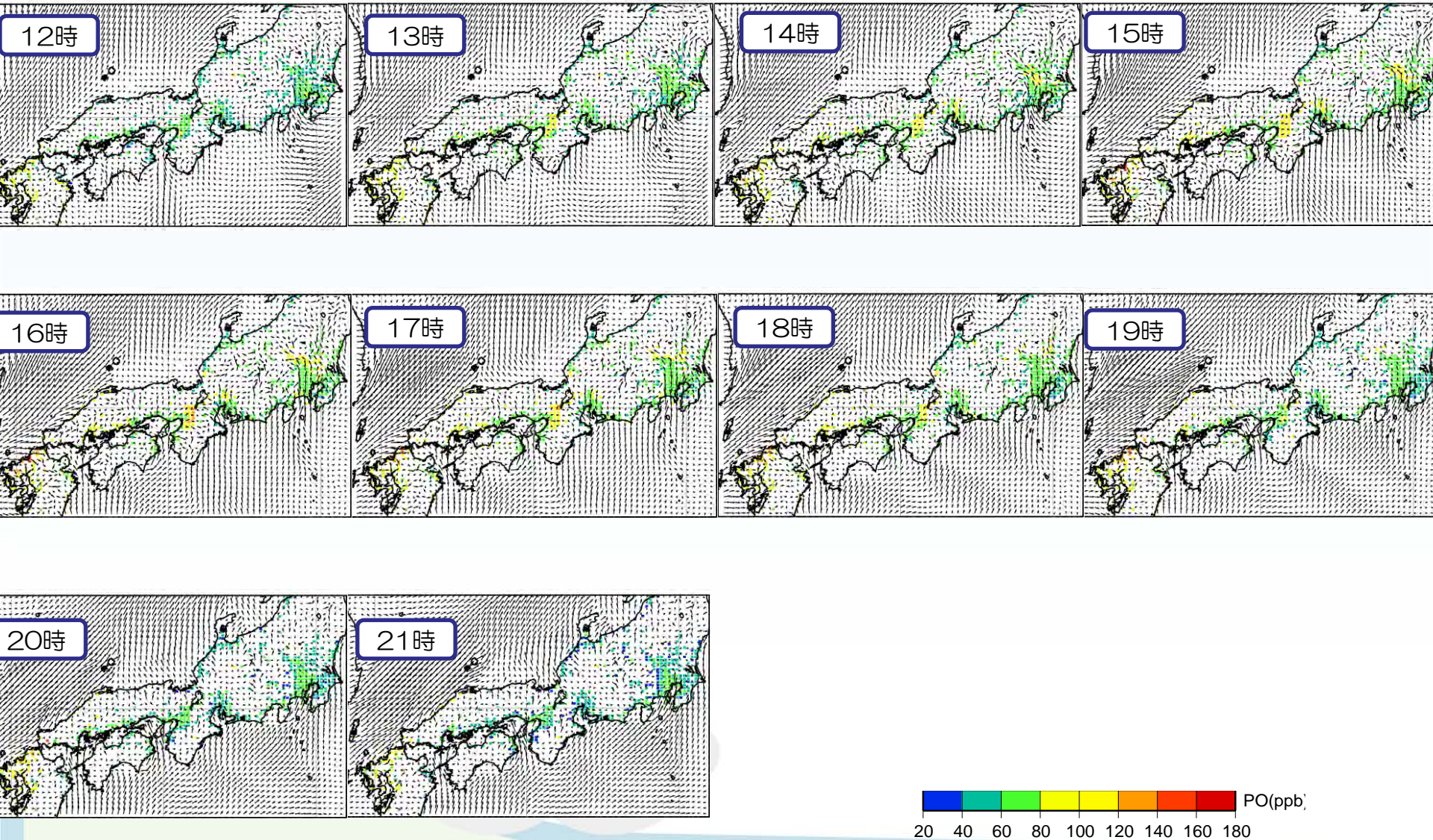
【光化学オキシダント】 2009年5月9日のOx濃度の時間変化



【光化学オキシダント】 2009年5月9日のOx濃度の時間変化



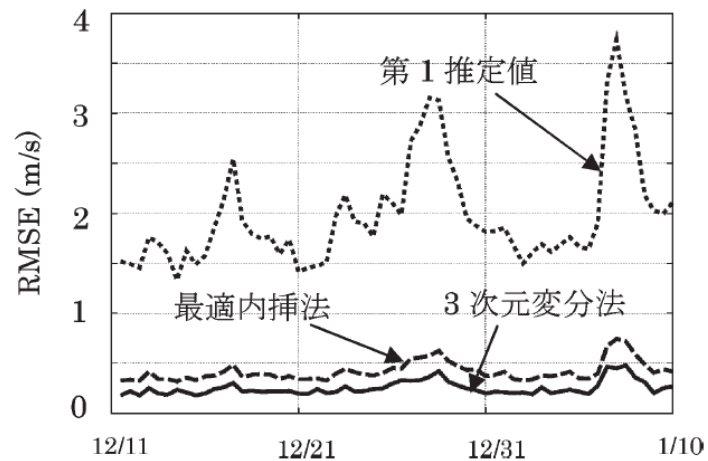
【ポテンシャルオゾン】 2009年5月9日のPO濃度の時間変化



“天気”（日本気象学会）(2008.5)解説より抜粋・整理

- ・ 毎時大気解析GPV概要
- ・ アメダスによる観測データを用いて計算した風データの東西成分についてのRMSEの時系列

項目	内容
解析方法	3次元変分法
観測値	アメダス（風、気温） ウインドプロファイラ ドップラー速度レーダ（動径風） 毎時衛星風
第一推定値	JMA-MSM予報値
解析要素	風（水平）、気温
解析範囲	アジア域、5kmメッシュ、 高度地上～約22kmまで
解析時刻	毎正時
配信資料	東西0.0625度、南北0.05度 風（2成分）、気温 地上,1000,975,950,925,900,850, 800,700,600,500,400,300,250, 200,150,100hPa 毎正時後30分を目処に配信



第3図 毎時大気解析で同化されたアメダスの風観測の東西成分データに対するRMSEの時系列。2006年12月11日12 UTCから2007年1月10日00 UTCまでの毎日2回(00, 12 UTC)の評価に基づく。実線：3次元変分法による解析値、破線：最適内挿法による解析値、点線：第1推定値。